

# ● 講中を訪ねて ●

## 「長沢御嶽講について」

川崎市 長沢御嶽講 講元 末吉 一夫

私ども長沢御嶽講中は、川崎市多摩区南生田、および長沢の旧農家の方々等、七十二戸の講員の皆様で講を構成しております。当地区は、多摩区となる前は川崎市生田長沢であり、長沢講として存続しております。また、新年二月になりますと、久保田御師様が当地域に來訪され、二日間かけ講員宅を巡回し、お札の配布、祈禱をして頂いております。この近年は、御師様親子二人で巡回され、講員の皆は楽しみにしております。この地域は、特に平成に入り住宅化が進み、專業農家もなくなり、小生が父より受け継いだ頃とは様子がかなり変わってきております。しかし、長沢講の方々は御嶽講に対し、先代から引継がれた伝統を守り、現在に至っておりますが、中には先代からの引継ぎ、継承がはつきり出来ておらず、武蔵御嶽神社、御嶽講の講員であることを知らず、家を引き継がれる方がおられます。そこで講員であることの証として、平成二十二年宿坊能保利、母屋改築時に、本改築記念の材、御柱をもとに、武蔵御嶽神社の御犬様のお姿を頂き、「武蔵国御嶽山 講員証 長沢講中」を仕上げ頂き、講員の皆様に配布して頂きました。今後とも御嶽講の講員であることを誇りに思い、継承していただける証となることを願っております。



久保田 直行 川崎市川口区  
神奈川 約七十二名  
宮 司 久保田 直行  
幹 在 地 神奈川 約七十二名  
所 員 数 約七十二名

結びに、武蔵御嶽神社の益々のご隆盛と久保田御師様、ご家族のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

## 灯籠奉納

一基 奉納者 (順不同・敬称略)



株式会社 荒井電業社  
代表取締役 荒井成典  
日本書鏡院  
長谷川耕史  
野崎啓太郎・野崎恵子  
村野英夫  
岩浪勝二・岩浪睦子  
富士鋼工業株式会社  
学校法人 吉野学園  
すぎの森幼稚園

※奉納者ご芳名の詳細は、次号にて掲載させていただきます。

## 「縄文阿吽大口真神像」奉納



八月二十四日、東京都青梅市沢井在任の縄文土器作家ともいわれる陶芸家大藪龍二郎氏より、「縄文阿吽 大口真神像」をご奉納頂きました。この御狗様像は大地と野生、土と炎の躍動を感じさせる素晴らしい作品です。有難うございました。

## 「大嘗祭」

今年五月一日より令和の御代が始まりました。一一〇代仁孝天皇以来の譲位によるご即位となり、多くの人々が上皇陛下への感謝と奉祝の中、新天皇が誕生されました。そして、十月二十二日即位礼、十一月十四・十五日の大嘗祭が執り行われ、広く内外にご即位を宣明されます。この一代一度だけ行われる大嘗祭について少し記します。



大嘗宮模型

天皇陛下の行う様々な祭祀の内、新嘗祭という律令以前より行われている神事があります。現在は、宮中の神嘉殿にて十一月二十三日夕方と二十四日明け方の二度、天照大神を始め全ての神々に、陛下自ら新穀をお供えになり、神恩に感謝申し上げます。陛下も同じお膳を召し上がります。全国の神社でもこの日、新嘗祭が執り行われ、地域で収穫された産物が神前に献上されます。国民の祝日である勤労感謝の日の本来の姿です。そして、新天皇が即位して始めて行うこの儀式を大嘗祭といえます。新嘗祭との違いは、話題になりませんが、たもとにより悠紀(京都以東)・主基(京都以西)両地方が選定され、皇居(京都以西)両地方が選定され、皇居東御苑に大嘗宮が設けられ、そこで行われることです。日には十一月の中または下の卯の日とされていますが、今回は中卯の十一月十四日午後十時頃より翌午前二時頃にかけて、大嘗宮の悠紀殿・主基殿それぞれに、今回選定された栃木県・京都府の斎田で収穫された新穀が供されます。古くから受け継がれる祭祀ですが、明治四十二年登極令で近代の定型が決められ、現憲法下でもこれを目安に平成の大嘗祭が執り行われました。神の恵みに感謝するとともに、それに関わる方々に感謝し、神とともにお祝いする、新天皇として一世一代の行事といえます。

## 彩りの秋 御岳山

猛暑も過ぎ、鳴く虫の女王「カンタン」の奏でる音色が早秋の訪れを告げました。秋は気候も落ち着き、参拝やハイキングに適したシーズンとなります。

当社では十月に「神楽と雅楽の一般公開」、十一月までの第四日曜日に開催される「夜神楽」で文化に、「秋季大祭」や「元旦祭」「初詣」等では、神事や伝統に触れていただくことが出来ます。その他にも御岳山商店組合主催の「天空紅葉祭り」では忍者や芸者イベント、ヴァイオリンコン

サートなどが開催され、山の賑わいに花を添えます。

神職たちの営む宿坊では秋の味覚が供され、弄月・虫の音と秋の夜長を楽しむながら泊りいただけます。例年十月下旬頃に山肌が色付きはじめ、其の身に錦を纏い始めます。ご家族やご友人たちと、ご家族の一員である愛犬をつれて、一面に敷かれた紅葉の絨毯を踏み始めながら、芸術や文化・伝統や芸能に触れながら秋の御岳山へ是非ご参拝ください。

## 御岳山観光協会HP



## 2019 天空もみじまつり



武蔵御嶽神社  
http://www.musashimitakejinja.jp

